

2018年

カトリック笹丘教会

福岡市中央区笹丘1-16-1

12月号

教会ニュース

TEL761-4504 fax 761-4524

No.0076

広報委員会

待ち時間を有効に



主任司祭 遠山満

私達の日常生活には、沢山の待ち時間があります。それを、どのように過ごすのかによって、私達の人生は、大きく変わるような気が致します。

私が、待ち時間を有効に使えたなどと思える、数少ないケースは、青年海外協力隊でホンジュラスに派遣された時の事です。日本やメキシコで語学訓練を受けていたにも拘らず、ホンジュラスに到着して、約半年間、語学力が十分でなかった為、与えられた業務でありました、学生への講義を行う事ができませんでした。その為、職員会議では、「ミタル・トオヤマ氏を、正式に教員として採用するか否か」という事が議論されておりました。私は、そのような事になっているとは露知らず、私が住んでいたコロニーの子供たちと遊びながら、スペイン語を学んでおりました。子供たちは、私にとって、良い教師でありました。

待ち時間を有効に使えなかった例を挙げれば、枚挙にいとまがありません。外食に行って、注文した食事の到着が遅れ、内心いらいらしたりした事は、数知れないほどあります。約束の時刻に、連絡もなしに待ち人が大幅に遅れて来たりする時、心の中で相手に対して怒ってしまったことも、また数知れません。今になって考えてみますと、この待ち時間を、相手の為祈ったりして待てば、イライラする事もなく、もう少し有効に時間を使う事ができたのではないかと思います。

聖書中、待ち時間を過ごす際、大きな罪を犯してしまった人達の代表的な例は、エジプトを脱出した後、主なる神様と対話する為、シナイ山に登ったモーセの下山を待ち切れず、金の子牛を作って偶像礼拝をしてしまったイスラエルの民のケースです（出エジプト32章）。この個所に記されている事は私達も犯してしまいそうな事柄です。

初代教会の中で、再臨のイエス様を、これ以上待っても無駄なのではないかと、人々が考え、信仰生活が揺らぎ始めていた、その時、福音書を書いたルカは、イエス様が語られた御言葉を引用して、次のように記しています。「放縦や深酒や生活の煩いで、心が鈍くならないように注意しなさい」（ルカ21章34節）。何かを待ち続け、我慢しきれなくなった時、私達もしでかしそうな事です。

それゆえ、この待降節の期間、私達は、待ち時間を有効に使う事を学びながら、また待つ事を通して、忍耐の徳を涵養しながら、クリスマスに向けて、またイエス様の再臨に向けて、心の準備をして参りましょう。

カトリック笹丘教会 役員会議事録

開催日時：2018年11月17日（土）16：00～17：10

開催場所：信徒会館

出席者：遠山神父、川原、辻部、前田（美）、前田（史）、菅、牧山、松尾、畠山、川原（圭）

欠席者：なし 司会：川原 書記：牧山

1. 11月18日「終活勉強会」について

(1) 内容

①教皇庁教理省『死者の埋葬および火葬の場合の遺灰の保管に関する指針』の日本の教会での適応について説明する。(担当：遠山神父様)

②「終活」についての勉強会(講師：草苑 高崎氏)

(2) 司会(担当：畠山)

2. 12月2日クリスマスバザーについて

(1) 準備状況

- ・食堂メニュー：豚汁、ゆかりご飯、ぜんざい。料金300円。
- ・お手伝いのお知らせは今週と来週行う。食堂準備は12/1（土）13時。

(2) 益金の使途

東ティモールや美野島司牧センターなどの候補が上がったが、金額を見て検討する。

3. クリスマスの準備について

(1) 大掃除 12/9（日）10時のミサ後

(2) 黙想会 12/16（日）指導司祭未定

(3) プレゼント

100円程度のお菓子を300個用意し、子供を対象に配る。

(4) イルミネーション補充

教会の備品にて、購入時は維持費会計から支出する。



4. 新成人お祝い 1/13（日）

(1) 案内状(担当：畠山)

(2) 記念品 在庫ある。

(3) 茶話会 コーヒーコーナーで行う。

5. その他

・新年会 1/20（日）

・マイクの見積もりが届いている。(遠山神父)

・側溝の詰まりを取り除くための見積もりが届いている。(遠山神父)

・未就園児のための建物(2階建て)建設予定あり。(遠山神父)

次回役員会 1/12（土）16：00



信仰のルーツコーナー

わが父 米田博一の信仰の歩みを辿る【第六回最終章】

7 わたしが受け継いだ信仰

米田博正

故米田博一氏

父が世を去って、およそ半年の月日が流れました。今、ようやく父との別れを、自分の人生の出来事として受けとめられるようになってきたように感じています。わたしが父、母をとおして、神からいただいた大きな賜物は、命と信仰であるといえると思います。

父の時代の教会と現代の教会とでは、大きな違いがあります。どちらが優れている、という比較をすることは愚かでありましょう。ただ、教会や信仰のありようが時代とともに異なってきたことは、客観的な事実です。その最大の転換点となったのが、第2バチカン公会議でした。1960年代以前と比べ、ミサの荘厳さや聖職者の権威は失われたかも知れませんが、しかし、他方でわたしたちは今、聖書のみことばに直接ふれることができます。またプロテスタント諸教派とのエキュメニカルな対話や、諸宗教との関わりも大切になってきています。かつて、父が受洗し公教要理を学んだ時代は、「教会の外に救いはない」と考えられていた時代でした。これは、社会の近代化、世俗化が進むなかでカトリック教会がやや護教的になっていた表れだといえると思います。

今、わたしたちは「開かれた教会」の時代に生きています。しかし、この時代の信仰も、第2バチカン公会議以前の信仰も、あるいは初代教会から受け継がれている信仰も、その本質においては差異がないと思います。すなわち、神がわたしたちを愛しておられるということ、神が一人ひとりの人生とともに歩んでくださっているということ、そして、キリストの贖いの業のうちに救いがあるということです。人生において、つまづくこと、傷つくこともありますが、復活されたキリストがきっとわたしを立ち上がらせてくださるということ、そんな信仰を教会は受け継いできたと思うのです。そしてキリストが弟子たちに与えられた新しい掟、「わたしがあなた方を大切にしたいように、お互いに大切にしたい」（ヨハネ福音書、本田哲郎訳）という教えを守り、生きていくことによって、福音は証しされ、さらに広く受け継がれていくと思います。

父、博一から受け継いだ信仰を、わたしなりに生き、祈りのうちに深めていくことができれば、とのぞんでいます。しかしわたしの力をたのみとするのではなく、愛である神の御手、聖霊の導きに委ねて。



・むすびにかえて

今回、あらためて亡き父の信仰の歩みをふり返らせていただくにあたり、父の郷里である奈良の教会を訪ねました。最後にわたしが奈良で感じたことを記し、むすびとさせていただきます。と思っています。

父が84年前に洗礼を受けた奈良教会の聖堂には、ミケランジェロのピエタのレプリカが置かれています。ピエタには、痛々しいまでにすべてを与え尽くし、傷ついたイエスの姿、そして、亡くなった我が子を腕に抱く母マリアの悲痛な表情が刻まれています。



この像を見ながら、はたして父が何を祈っていたか、わたしにはもはや知ることはできません。

わたしは、奈良教会の聖堂に一人たたずみながら、この痛みのなかにこそ神は臨在されると感じました。第2イザヤ書の「苦難の僕」の箇所には描かれる救い主の姿のように、小さくされ、苦しんでいる人のうちにこそ、神はともにおられるということです。わたしたちが悩み、苦しんでいるときには、イエスがともに十字架を担ってくださっているという真実を、わたしは父の郷里で思いおこしていました。

そしてもう一つ大切なこととして、世の、小さくされた人、痛みを知った人、貧しい立場に置かれた人、差別された人、虐げられた人、その一人ひとりのうちに神は働かれるということも、わたしの心中に去来していました。神から与えられた、恵みのひとときであったと思います。

末尾になりますが、生前、わたしの父、博一が、笹丘教会の皆様、ならびに神様方には、祈りと、ひとかたならぬお世話をいただきましたことを、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。(了)

*原稿は平成30年6月にいただいており、文中の年月の換算はその時点で計算されたものです。

*先月11月号に誤記入がありました。《誤》米田正博→《正》米田博正

*米田博一氏はこの12月で一周忌を迎えられます。ご家族の原稿のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。(広報委員)



草苑さんの「終活セミナー」 2018年11月18日10時のミサ後 参加40名程

草苑さんの高崎氏をお招きして勉強会を開いた。

1. 最近の葬儀事情について

①家族葬が増えている。参列者は10~20人くらい。キリスト教は共同体としてきちんとしているが、カトリックでも家族葬が増えている。

②自然葬・・・単なるお骨の処理法である。

・海洋葬：散骨。草苑では年3、4回。玄界灘で30万円くらい。

・樹木葬：1. 里山形式・・・自然保護が目的。NPOで運営、阿蘇外輪山など。

2. 霊園形式・・・アーリントン墓地など。20cm位のプレートを埋める。

3. 合葬形式・・・記念碑。1人25~30万、夫婦40~50万。

③直葬（ちよくそう、じきそう）・・・24時間後に火葬のみ。関東では4割。福岡でも増加傾向。

2. お話の中で気になったこと

(1)エンディングノートなど、自分の意思を書いておくこと。鉛筆で。

(2)断捨離をしておくこと。

(3)葬儀等で業者任せにならないように。次の言葉は言わない事。

「普通でよい」「一般的な値段で」「他の方はどうしてますか」

(4)キリスト教での葬儀は宣教につながる。聖歌を歌うことはとてもよい。

(5)葬儀費用は互助会の積み立ては教会では使えないところが多い。



Q. 故人の所属教会が遠い時、わからない時

A. 家族の意向を大切にすること。基本的には笹丘で可能。

Q. 友引に葬儀をしても？

A. 六曜であり、仏教でも問題ない。故人が非信者ならば配慮した方がよい。

「教皇庁教理省『死者の埋葬および火葬の場合の遺灰の保管に関する指針』の日本の教会での
適応について」より 詳細はカトリック中央協議会ホームページを参照のこと

*ご遺骨の自宅保管は許可されている。

*家族成員の異なる世帯間での分骨は許可される。

*遺灰を空中、地上、水中もしくはその他の方法で撒くこと（散骨）は許されない。

*遺灰を自然にまき散らすことを明らかに遺言していた場合は、その葬儀は教会ではできない。

*ご遺骨、遺灰を装身具等に保管することはできない。

*ペットの葬儀は教会では出来ない。



11月行事報告

七五三祝いのミサ(11日)には、コレジオの森山信三神父様がみえました。



青年会平尾さんと3名の青年部
熱い思いを発表

青年会黙想会報告(コーヒーコーナー時)

——ゆりかごの現状——

熊本市にある慈恵病院を訪問。とても奥まったところにあった。(赤ちゃんポスト)ゆりかごの開設経緯、児童遺棄の現状など伺った。相談件数は増え、置き去り件数は減っているが現状は深刻。

“命”の尊さを広い視野で見つめる貴重な時間であった。

クリスマスバザー 2018.12.2(日)



今年も”お出迎えマスコット”登場



ここは手作り品販売コーナー

大盛況でした！！

前準備、作成、すべての取り組みに感謝！
バザー収益は、教会修繕準備金と福祉施設へ献金予定



食堂も大賑わい！豚汁、ぜんざい
ホットドリンク 綿菓子は大人気

編集後記

ご降誕節を迎えました。一年があっという間です。

広報委員会では広報委員を募集しています。

広報委員大募集！